

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	小学英語				
担当者氏名	山本 元子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

小学生の発達段階（特性）、認知のしかたの特性を知り、それらをふまえた「英語教授法」について理論的に学んだ後、受講者による模擬授業を行う。相互評価を行い、指導の実験を経験し、指導技術をも高めていく予定である。併せて、具体的な教材・教具についての講義を適宜交えて行う。
科目名にあるよう、授業の実践を意識した内容を取り上げる。

《テキスト》

Here We Go 5、Here We Go 6（光村図書）
小学校で英語を教えるあなたへ（明治図書）

《参考図書》

必要に応じ、資料等配布する。
小学校外国語教育の進め方（成美堂）、

《授業の到達目標》

小中連携を視野に、小学生の発達段階（特性）や認知のしかたの特性を知り、それらをふまえた「英語教授法」について知る。模擬授業を通し、指導の実験を経験し、指導技術を高める。併せて、具体的な教材・教具についての理解を深め、効果的な使用法を考究する。

《授業時間外学習》

- ・模擬授業用の指導案作成
- ・教材研究、ならびに教材・教具の諸準備

《成績評価の方法》

授業への参加姿勢、模擬授業や相互評価会、ならびに提出物の内容（課題をどれだけこなしているか）、期末のレポートの得点などにより総合的に評価する。
平常点（参加姿勢）40%、
提出物（指導案）30%、模擬授業（相互評価含）30%

《備考（教員経験の有無）》

シラバスは、受講者と協議の上変更を加えることがある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	イントロダクション	ガイダンスおよび小学校英語について
2	指導案作成 1	指導案の立案と書き方について学ぶ
3	地域人材	「地域人材」との共同による授業の構築を考える
4	教材教具 1	教材・教具の果たす役割と英語活動について考える
5	自作教材	自作教材と取り入れた指導案を作成し、模擬授業と相互評価を行う
6	教授法DM	教授法Direct Methodを学び、指導に活かす
7	模擬授業 1	Direct Methodによる指導案を作成し、模擬授業と相互評価
8	Team-Teaching	外国人教員・ゲストティーチャーとのTeam-Teachingとは何かを知る
9	模擬授業 2	Team-Teaching用の指導案を作成し、模擬授業と相互評価を行う
10	外国の行事	クリスマスなどの外国の行事を題材にした活動を考える
11	模擬授業 3	クリスマスなどの異文化理解を視野に入れた指導案を作成し模擬授業と相互評価を行う
12	教材教具 2	効果的な教材教具の準備と授業での使用を考える
13	遊びの要素と学び	遊び（ゲーム）の要素とその特性を生かした授業を考える
14	日本文化発信	「日本文化を（相手に）伝える」指導案を作成し、模擬授業と相互評価を行う
15	まとめとテスト	授業全体のまとめとレポートテスト